

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和4年5月31日

支出負担行為担当官

名古屋法務局長 鈴木 裕 治

1 競争入札に付する事項

- (1) 品目分類番号
4 1
- (2) 工事名
名古屋法務局半田支局外壁等改修工事
- (3) 工事場所
愛知県半田市東洋町一丁目12番地 名古屋法務局半田支局
- (4) 工事内容
仕様書で指定する箇所の外壁改修、屋根改修、内装改修を実施するとともに、これに附帯する関連工事を行う。
- (5) 工期
令和5年2月28日（火）まで
- (6) 本件入札手続は、入札参加申請手続、入札手続等を電子調達システム（政府電子調達（G E P S）（<https://www.geps.go.jp/>））により行う。
なお、電子調達システムにより難しい者は、支出負担行為担当官の承認を得た場合に限り、入札参加申請手続及び入札手続の全てを書面により行うこと（本件入札手続において「紙入札方式」という。）ができる。

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、予決令第70条における特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 本件工事の業種区分において、法務省の令和3・4年度における「建築一式工事」のD等級以上の一般競争参加資格の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがされている者については、手続開始の決定後、法務省が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再認定を受けているこ

- と。)
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがされているもの（上記2(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
 - (4) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、平成7年1月23日付け法務省営第191号会計課長通達「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領の制定及び運用について」に基づく指名停止を受けていないこと。
 - (5) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受注業者（協力事務所を含む。以下同じ。）又は当該受注業者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
 - (6) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（入札説明書参照）
 - (7) 警察当局から暴力団が実質的に経営を支配する業者又はこれに準ずるものとして排除要請があり、法務省大臣官房施設課長が契約の相手方として不相当であると認めていないこと。
 - (8) 法務省が発注した工事について、予決令第85条に基づく調査基準価格を下回る価格で契約し、かつ、当該工事の工事成績評定点が65点未満である場合には、その工事成績評定点の通知日の翌日から法務省が発注する工事の入札公告の日までの期間が1か月を経過していること。
 - (9) 本件仕様書に定める工事内容と同等の契約実績（履行を完了したものを有すること。

3 入札手続等

- (1) 担当部局
〒460-8513
名古屋市中区三の丸二丁目2番1号 名古屋合同庁舎第1号館
名古屋法務局会計課施設係（担当 石黒）
電話 052-952-8117（直通）
- (2) 入札説明書の入手期間、入手場所及び入手方法
 - ア 入手期間
令和4年5月31日（火）から同年7月20日（水）まで
 - イ 入手場所及び入手方法
 - (ア) 入札説明書等（入札説明書別冊の図面を除く。）は、上記(1)にて交付又は電子調達システムからダウンロードできる。
 - (イ) 入札説明書別冊の図面については、上記(1)でのみ交付（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）を除く毎日、8時30分から

17時15分まで（ただし、12時00分から13時00分までは除く。））するので必ず入手すること（同図面は上記(ア)の方法によっては入手できない）。

(ウ) 別冊の図面を含む入札説明書等について、郵送又は電送による入手申し込みは受け付けない。

(3) 申請書の提出期間、提出場所及び提出方法

ア 提出書類

入札説明書による。

イ 提出期間

令和4年6月1日（水）から同月13日（月）までの休日を除く毎日、8時30分から17時15分まで（ただし、12時00分から13時00分までは除く。）。

ウ 提出方法

電子調達システムにより提出すること。

なお、紙入札方式による場合は上記(1)の場所に持参若しくは郵送（提出期間内必着）すること。

(4) 入札、開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

ア 入札

(ア) 入札書の提出期限

令和4年7月20日（水）17時15分まで

(イ) 入札書の提出方法

電子調達システムによる。

なお、紙入札方式による場合は上記(1)の場所に持参又は郵送（提出期間内必着）すること。

イ 開札

(ア) 開札の日時

令和4年7月21日（木）13時30分

(イ) 開札の場所

電子調達システム及び

名古屋市中区三の丸二丁目2番1号

名古屋合同庁舎第1号館 名古屋法務局4階会議室

4 その他

(1) 手続において使用する言語は日本語、通貨は日本円、時間は日本の標準時及び単位は計量法（平成4年法律第51号）による。

(2) 入札保証金

免除

(3) 契約保証金

納付（保管金の取扱店 日本銀行名古屋支店）。

ただし、利付国債の提供（保管有価証券の取扱店 日本銀行名古屋支店）又は金融機関若しくは保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(5) 落札者の決定方法

予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。

おって、落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条に基づく調査基準価格を下回る場合は、予決令第86条の調査を行うものとする。

(6) 手続における交渉の意図の有無

無

(7) 契約書作成の要否

要

(8) 本件工事に直接関係する他の工事の請負契約を本件工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無

無

(9) 関連情報を入手するための照会窓口

上記3(1)に同じ。

(10) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(3)により申請書を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時ににおいて、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(11) 詳細は入札説明書による。